



全日本トライアスロンクラブ会報

2012年11月号

ATC-HP : <http://atc-triathlon.com/html/> E-Mail : swim.bike.run-aoki@ezweb.ne.jp

事務局 : 〒140-0014 東京都品川区大井1丁目52番5号 留守番/FAX : 03-5709-5599



☆ ハワイ・アイアン大会 ☆

今年のシーズンを締めくくるハワイ大会が10月13日(土)開催された。

参加者は2,000名に達した、しかし日本選手は、09年120名、10年60名、11年50名、今年は40名になってしまった。

天候は晴れで、暑く感じられた、又昨年穏やかであったコナウィンドーは例年の強さに戻っていた。

その為バイクタイムが上位選手で10分~15分遅くなった、ランでは影響が少なく、ゴールタイムがその分だけ遅くなっていた。

優勝争いは、09年8位、10年9位と世界のベスト10に顔をだして、そして昨年の11年には6分届かず2位になり優勝に手が届く所まで来ていたオーストラリアのジャコブ・ピートがスイムは51分でバイクパートでもトップを狙える位置を保ち、ランでは2時間48分で走り、2位に5分差をつけて優勝を獲得した。

2位には昨年3位のドイツのアンドレスがランで差をつめたもののスイムでの4分差が響いて、5分遅れでゴールした。その30秒後にフレデリックが3位でゴールした。

女子はアメリカのケイブ・リレンダが2位の選手にバイクで5分差をつけられたが、ランで5分差をつめて、スイムの貯金1分差が最後まで有効のまま昨年の3位から女王の座を勝ち取った。

日本では有力選手が参加できず、一般選手だけの参加になった。

三沢選手の229位が最高位であった。その中で元プロ登録の白戸太郎選手が592位に入っていた。会員の小島豊選手は年代別4連覇に挑んだ。

スイムで昨年より2分速い1時間27分で上がり、バイクも12分縮めた7時間21分で上がり、好調なレース運びであった。バイクで飛ばし過ぎたかトラディションタイムが4分程長くなっていた。得意のランでは前半は笑顔、後半になると自覚がないものの脱水状態になって行った。タイムも12分の遅れになった。ゴールタイムは3分の遅れにとどめが順位は80位に下げた。そして残念なことに、エイジで3位になってしまった。

(本人感想文参照)

今年の大会で最高位エイジの80才以上の部で新記録が出た。千葉の稲田選手で、今までの記録を10分以上短縮した、15時間38分25秒で1位の座に輝いた。この日本人の快挙が小島豊選手の心に火をつける結果になると思う。

そしてこの『世界記録』を破ることに3年後を目指して邁進することでしょう。(小島さんは練習中のバイクの転倒ケガもさることながら最大の敵は日常生活でのほんのちょっとした不注意によるケガなのですか?)

☆ 佐渡大会 ☆

今年も大会に参加する事自体が大変難しい事になった。その中で30名の会員が参加した。

Aタイプでは昨年のスイムでの事故の影響で1.9kmコースを2周回する事になった。1度陸に上って安全を確認する方式になった。Aタイプ、Bタイプもクラゲの洗礼を受けながらも、スイムでの事故は無く、無事バイクへと移って行った。Aタイプのバイクパートで会員が素晴らしい記録を作った。野口泰が優勝した福井選手の5時間13分の1位に続き、5時間40分で全体の2位になった。昨年総合12位の馬場誠も6時間01分で15位になった。

その馬場誠に昨年31分遅れで31位だった山口孝治が今年は逆に8分差をつけて16位になった。バイクでパンクして30分タイムロスしたが、ランパートは3時間39分で13位となった。スイムの苦手な馬場、野口は山口のスイムタイムだけで20分差をつけられている。スイムが強化されればもっと接戦になる。この三つ巴の戦いが来年も続く事を期待しよう。(ハワイ大会でも短時間勝負ながらスイムタイムが順位を大きく左右している。両選手のスイム強化を希望する。)

Aタイプの他の選手達も、6時間、7時間、8時間かけて、バイクを終り、実り豊かな、黄金色と緑の大地の中を走りぬけて行った。そして暗くなった町の中を島民の応援を受けて次々とゴールして行った。

Bタイプの会員達は、全員無事完走して、午後にはAタイプの仲間達とビールを片手に応援していた。

☆ 総会・新年会 ☆

第28回通常総会が来年1月20日(日)、午後5時30分より、品川駅前の品川プリンスホテル・メインタワー12階のシルバーの間で行われます。

続いて新年会が6時30分~8時30分迄行われます。